

男の子ワールド全開の変形服

車が巨大戦闘ロボットに形を変
えるSF映画「トランスフォーム
ー」は、ゴレンジャーやダクオン
なども思い出させる男の子ワール
ド全開で、なかなか愉快だった。

メカのトランスフォーム(変
形)といえは、最近、ある自動車
会社のデザイナーから「ウチの車
を腕時計にしてみた」という作品
を見せてもらった。計器の数字が
文字盤の数字になり、タイヤが竜
頭になり……の変換ぶりに感心し
たが、先日は何んとメカが服にな
るトランスフォームに出合った。

ーなど施しつつ服として組み立て
る。大胆な変形を考えたのは、イ
ッセイミヤケのクリエーティブ・
ディレクター、藤原大さん。

「掃除機を服に」という発想自
体が驚きだが、同ブランドの08年
春夏のテーマ「風」を考えるうち
に自然に思いついた、と藤原さん
は語る。人間が自ら作り出す風に
は、掃除機の風がある、と。

この服が発表されるパリコレの
ショー会場では、ランウエーにダ
イソン氏が掃除機の風を作り出し
た環境そのものに見立てられる。
その中で、チリやゴミとともにモ
デル(人間)が翻弄(はくろう)される……。

中野香織の——コロモのココロ——

つまり、ショーは「今の地球環
境は人間が自ら作り上げたもの。
その環境に人間自身がおびやかさ
れているというパラドックス」の
象徴ともなるわけである。

ふと、トランスフォーミズム
(生物変移説)の初期の提唱者と
される19世紀の博物学者ラマルク
に連想がとんだ。「環境が変われ
ば生物の必要も変化し、ひいては
行動や機能が変わり、やがて形も
変わる。かくして種は徐々に変容
する」という趣旨のことを書いた。
環境問題に関心が高まる中、
トランスフォームの流行は、種と
しての人間の変化に何か関係が……?
イッセイミヤケチームの仕
事ぶりを見る限り、分解・再構築
という男の子ワールドの快楽は不
変のようですが。(服飾史家)